



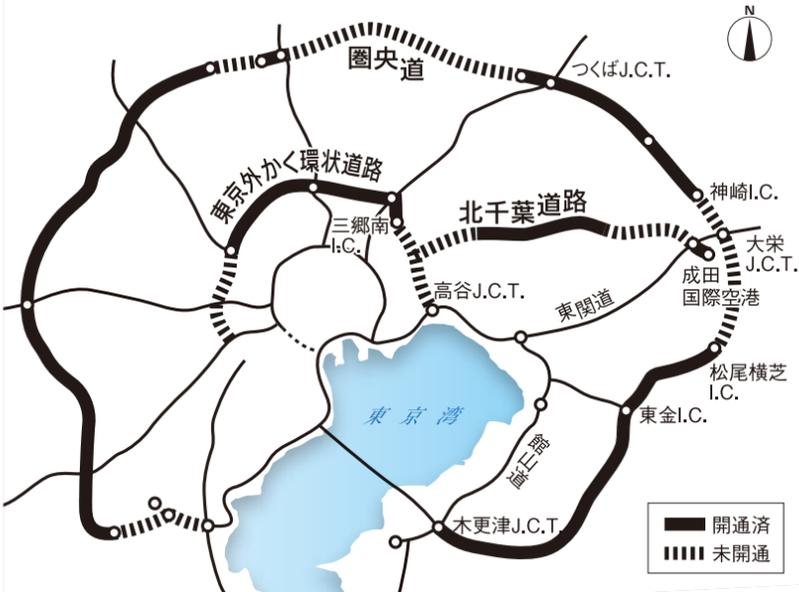
入江あき子の

県議会報告

Index 2014.12 発行

- 1 ●平成25年度決算審査
 - ・高速道路に多額の税投入
 - 「生活道路」は後回し
 - ・千葉の農業の未来は？
- 2 ●活動報告
 - 入江あき子の県議報酬
 - お医者さんが足りない!

首都圏幹線道路簡略図



一方、県が管理する道路の改修や道路橋の耐震補強などに必要な予算は十分ではありません。25年度の予算編成にあたって、県内の土木事務所が提出した道路事業の予算要望額は、合計で約5003億円。これに対し、予算化されたのは7割弱の約406億円。

県道の管理が行き届かず、歩行中にケガをしたり、走行中に車が破損するなどの「管理瑕疵」

優先すべきは生活道路

一方、県が管理する道路の改修や道路橋の耐震補強などに必要な予算は十分ではありません。25年度の予算編成にあたって、県内の土木事務所が提出した道路事業の予算要望額は、合計で約5003億円。これに対し、予算化されたのは7割弱の約406億円。

県内には改修が必要な道路がたくさんあります。決算審査特別委員会では、国の「高規格道路推進」に追随するのはなく、県民に身近な道路の安全確保を何よりも優先すべきと厳しく指摘しました。

東日本大震災後、安倍政権は「国土強靱化」、防災・減災の名の下で道路事業費を大幅増額。昨年度、国は国内でまだつなげていない高規格幹線道路（ミッシングリンク）の整備に3063億円の予算を投じました。

千葉県が最も多く予算をかけているのは、3つの高速道路事業です。東京外かく環状道路（外環道）、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）、そして北千葉道路で、これら3路線の25年度決算額

高速道路には大盤振る舞い

11月5日までの6日間、決算審査特別委員会の委員として平成25年度決算を手エックしました。福祉、教育、防災など18部局における問題点は多々ありますが、今回は道路事業に焦点を当ててお伝えします。

は、国に支払う直轄事業負担金を含めて合計約140億円。昨年度末までに総額約3千億円を投入しました。

ところが、圏央道や北千葉道路については総事業費や完成の見通しも立っていません。県の今後の負担額は、わかっているだけで330億円を超えます。事業実施の根拠となる費用便益比（B/C）*については、外環道で1.2、圏央道では1.2~1.6。不要不急の事業が優先されていることは問題です。

*費用便益比(B/C)

計測可能な走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少の3便益(B)の合計を数値化し、維持管理費や工事費など全体事業費(C)で割った値。1.0を下回る費用対効果が低いと判断される。

災害時も不安

集中豪雨など災害時の緊急対応のための予算確保も不十分です。昨年10月には市内各所で台風26号による洪水被害が多発。印旛土木事務所管内でも倒木や土砂の撤去、路肩崩壊の修復などを約50カ所で行い、約3千万円かかりました。

直轄道路事業の総事業費			
	外環道 (千葉県区間約12km)	圏央道 (千葉県区間約95km)	北千葉 (約43km)
総事業費(国費+県負担金)	5,635	未定	983

直轄道路事業の千葉県負担金			
	外環道	圏央道	北千葉
県支出額(25年度まで)	1,634	872	436
県予算額(26年度)	61	16	41

千葉の農業の未来は？

入江：新規就農者の過去5年間の動向は？

答弁：近年、年間300人前後で推移してきたが、24・25年とも400人くらいずつ増加している。24年度から始まった国の「青年就農給付金制度」の効果が大きい。

要望：千葉県の食料自給率は28%（全国平均39%）。一方、県内の販売農家数は約5万4千で年々減少傾向。「青年就農給付金」（年間150万円）に加えてきめ細かな支援も引き続き行い、新規就農者をさらに増やしてほしい。

入江：化学肥料・農薬を使わない有機農業や冬期湛水管理の稲作への支援をどのように行っているのか？

答弁：23年度に国が「環境保全型農業直接支援対策事業」を創設。有機農業については、117戸から123戸と徐々に増えている。冬期湛水管理については、野田市のみで実施（8戸で600アール）されている。

要望：有機農業や冬期湛水管理は、農業の持つ多面的機能である環境・生物多様性保全に積極的に貢献している。これらの取り組みを県が市町村にもっと働きかけ、推進してほしい。



9/6 冬期湛水・不耕起移植栽培（耕さない田んぼ）小竹での稲刈り

活動報告



10/3 「子宮頸がんワクチン問題」勉強会を主催



10/23 石巻赤十字病院にて

地域医療



10/27 印旛沼清掃

水循環の健全化



8/4 南房総市木質バイオマス視察

再生可能エネルギー



10/19 佐倉市防災訓練

防災



10/19 志津公民館祭 リサイクルせっけんのブース

環境



8/25 有料老人ホーム「きなりの街すわだ」にて

高齢者福祉



10/23 「ざおう共同作業所」にて

障害者福祉

県議会改革を進めます!

- ◆議員定数・報酬・政務活動費の見直しを県民参加で!
- ◆一般質問を、わかりやすい「一問一答方式」に
- ◆議会の審議状況や採決結果がわかる「県議会だより」に

今年4月発表された千葉大の調査によると、平成37年時点での千葉県の必要医師数は厳しく推計した場合、14580人。1170人不足するとの結果が出ています。医師不足は大都市を除けば全国的な問題ですが、これからは医師獲得競争がさらに激化します。国も少しずつ医学生数を増やしていますが、千葉県内の医師養成機関は千葉大しかありません。これからは、いかに千葉で医師を育て、千葉に残ってもらうか、そのための政策を千葉県が打ち出していく必要があります。

千葉で医師を育てる

現在、千葉県では医学生に対する修学資金貸付を行っており、この制度を利用した医師が県内の医療機関で働くことが期待されています。その見込みがある医師数は、37年4月までに256人。しかし、これでは足りません。医学部卒業後に千葉に来てもらうためには、まずは県内の医療機関で研修を受けてもらうことが決め手となります。それに

高齢化が全国2番目のスピードで進む千葉県。年をとって病気になった時、安心して通える医療機関が身近にあるかどうかは、まさに死活問題です。ところが、千葉県の医師・看護師数は全国最低レベル。これでは不安です。

お医者さんが足りない!

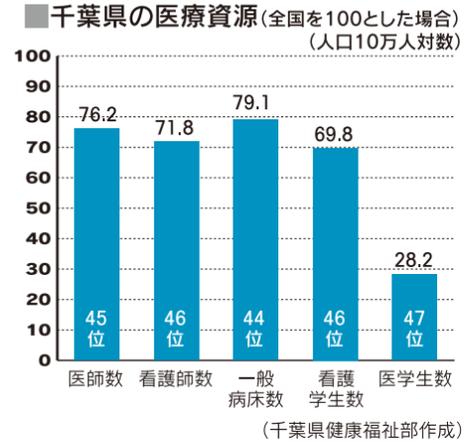
県はもっと本腰を入れて

入江あき子の県議報酬

2013.1~12月(単位:円)

収入	
議員報酬	10,032,000
期末手当	3,954,720
所得税	▲2,111,430
市県民税	▲1,204,300
厚生会等控除	▲162,000
国民健康保険料	▲770,000
合計	9,738,990
支出	
議員活動費*	2,800,000
議員期末手当*	400,000
県ネットへの寄付	2,898,990
(人件費、通信費、事務所経費、元気ファンド等)	
市ネットへの寄付	2,640,000
選挙積立	1,000,000
合計	9,738,990

* 議員活動費と議員期末手当は、入江個人が受け取った金額です。



24年度から千葉県でもようやくプライマリ・ケア専門医の養成・確保にかかわる予算がつけられました。東邦佐倉病院をはじめ県内5つの病院で、現在60名のドクターが研修中です。また、今年度は新たに「総合診療専門医」養成プログラム作成の予算を組み、14の病院に半額補助しています。これからも地域医療の充実に向けて、引き続き力を入れていきます。

県はもっと本腰を入れて

とりわけ今後の地域医療の核となるのは、患者を臓器別ではなく全人的に診察し、幅広い疾病に対応できる「総合診療専門医」です。ようやく日本でもその必要性が認められ、厚労省は29年から新たな診療科として導入を決定しました。私は4年前からプライマリ・ケア専門医(総合診療医・家庭医の総称)が活躍している長野や広島をはじめとする地域医療の現場を視察し、政策提案に結びつけてきました。

「総合診療専門医」に注目!

は、千葉県が県立病院をはじめとする各医療機関での研修制度を充実させるよう、さらに支援することが重要です。

Akiko's PROFILE

入江あき子 プロフィール

- 1965年 仙台生まれ
- 1988年 国際基督教大学(ICU) 教養学部社会科学科卒業
- 2003~2011年 佐倉市議会議員
- 2011年4月 千葉県議会議員1期目 会派:市民ネット・社民・無所属
 - 健康福祉常任委員会委員 / 千葉県環境審議会委員
 - 千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
 - 千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
 - 原発事故子ども・被災者支援法推進自治体議員連盟所属
 - 自治体議員立憲ネットワーク所属
 - ハッ場ダムを考える1都5県議会議員の会事務局長
 - 利根川流域市民委員会幹事